

自動認識の世界をより身近に

Flags

vol.149 2017
10月号

『自動認識総合展 出展レポート』

先月、開催された「第19回自動認識総合展」は、日頃よりご愛顧を賜っておりますお客様各位のお陰様をもちまして大盛況のうちに終了いたしました。今年はセンサエキスポジャパン、SUBSEA TECH JAPAN、測定計測展、総合試験機器展、フルードパワ―国際見本市展との同時開催となり、見どころ満載の展示会となりました。今月号は自動認識技術の視点から出展レポートをお届けします。

AUTOID & COMMUNICATION EXPO
第19回 自動認識総合展



今年の自動認識総合展

今年も9月13日(水)から3日間の日程で、恒例となりました自動認識技術の祭典「第19回自動認識総合展」が東京ビックサイトにて開催されました。

今年は5つの展示会と合同開催となり、東館の4～6ホールを突き抜けて全ての展示会を自由に相互入場できる様に主催者の配慮があった為、非常に多彩な業種の来場者から斬新なご意見、ご要望を頂く事ができました。

来場者数は、自動認識総合展単独では昨年を上回る開催期間累計で、18,943名の方にご来場いただき、合同展示会全体では97,830名ともう少し10万人を超える盛況振りでした。

過去の好景気「いざなぎ景気」を抜くと言われる昨今の国内経済の回復基調が囁かれる中、人口知能(AI)、IoT、ロボテックス、M2M(Machine to Machine)など第4次産業革命「インダストリ4.0」の新しいコンセプトを基本に、出展各社そ

れぞれのイノベーションの持ち味を十分にアピールできたという印象です。

先日国内では、経済産業省がコンビニ大手7社と合意が取れ「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」が発表されたのは記憶に新しいかと思えます。

それに加えて、トレーサビリティや流通・物流の効率化ニーズ等の要請に応えるインフラの源流となる情報が、「モノ」「人」「時間」「場所」といった個別識別との連携の核になり、いかに正確、かつ、リアルタイムに収集できるかが次世代への成長の鍵です。

まさしくこれを実現するためのキーテクノロジーとなるのが、自動認識技術であります。安心・安全の現場管理と併せて、新しい技術の進化を求めて、来場者様の関心の高まりを強く感じる展示会となりました。

注目の展示内容

第19回自動認識総合展のコンセプトは「ID First ～ IoTはIDから～」と題し、

自動認識技術をインターネットと物を結びつけるソリューションをテーマにしています。

出展各社の主力アピールとして、様々なウェアラブル端末をはじめ、Bluetoothでスマホやタブレットと接続する製品が多く紹介され注目を集めていました。

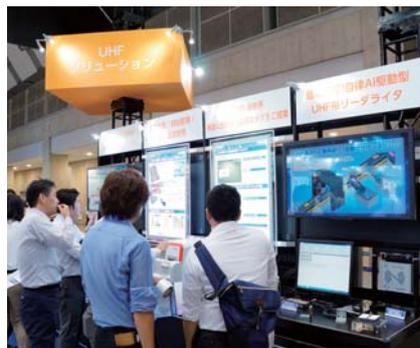
例年の画像認識テクノロジーでは、顔認証などセキュリティ関連が目立ちましたが、今年はこれからの高齢化社会を見据えたりIoT社会を意識して、ユニークな活用方法が紹介されていました。

例えば、普段飲用するお薬の錠剤をシートに並べて、錠剤に直接印字された薬品名や2次元コードを一括で撮影して、何の薬かを自動で判別してしまう技術や、ザルに撒いた一握りのお米を一括で撮影して、形、色、欠け具合、などを解析してお米の等級を自動で判別する技術などです。

昔から農家の人手不足はニュースとなっておりましたが、お米の等級を判定する技術を有する方はさらに深刻な人手不足に陥っており、正確に鑑定できる後継者も即席では育てられないのも厳しい現実問題となっているそうです。

お薬の判定に関しても、今後さらに高齢化が進むと一個人が持参する薬の種類はどんどん増える見込みです。

病院や街の薬局の薬剤師不足の解消や、払い出しミス(誤投薬)防止、外来患者さんの常飲薬の確認など医療過誤の原因として一番件数の多い“薬の取り扱い”をターゲットにしたソリューションだそうです。



今年の当社ブース

意外にも2020年の東京オリンピックを見据えた、セキュリティやインバウンドに向けたソリューションは時期尚早なのか鳴りを潜めていました。

今年の MTS ブース

会場にお越しいただいた皆様にはお分かりいただけるかと思いますが、展示会場に一步足を踏み入ると当社ブースが入口の真正面のポジションに位置していましたので、迷うことなくお客様をお出迎えすることができました。

今年は、主催者側のテーマに合わせて「IoTと未来をつなぐ自動認識ソリューション」を掲げ、製品だけでなく自動認識機器をどの様に活用するかを実際にイメージ頂ける形で出品いたしました。

◎UHF帯RFIDコーナー

『電子タグ1000億枚宣言』を先取りした、コンベア搬送読取に最適な『UHF帯RFID一括読取り装置』の実演をはじめとしUHFハンディターミナル、UHFタグ対応プリンタ、小型固定式UHFリーダライタから金属対応万能タグまでUHFソリューションに必要な全ての要素を出展しました。

開催期間中の初日からお客様が絶える事が無く、終始大盛況の賑やかなコーナーとなりました。



◎NFC/ICカードシステムコーナー

セキュリティ、個人管理をNFCリーダライタ端末にて活用したソリューションや新製品を出展いたしました。

注目の製品は『オーダーメイド KIOSK 端末』と『次世代・無人駐輪管理システム』でした。

マースウインテック社と共同出展した駐輪管理システムは、「三井のリパーク」で有名な三井不動産リアルティ株式会社様の駐輪場事業を展開するなかで、自動精算機から定期券の発行、自転車の入退場ゲートシステムとの連動までご採用いただき、今後の市場展開が期待出来る製品のひとつとなりました。

◎バーコード/画像認識コーナー

バーコード・2次元コードの枠を超えてOCR、パターンマッチングなどの画像処理機能を搭載した1台4役の固定式スキャナや近距離から遠距離までのフォーカスを自由に変更可能な2次元固定式スキャナの参考出展など、業界随一のラインナップを誇る当社の自動認識システムの主力製品を出展させて頂きました。

一台4役を実現する
小型固定式スキャナ
MVF-500→



←駐輪管理の煩わしさを減少させる
マースウインテックの駐輪管理システム



最後に

当社ブースにご来場頂きました皆様には紙面を借りて御礼申し上げます。説明員が足りない時間帯も多くあり十分なご対応ができなかった皆様には大変失礼致し申し訳ございませんでした。

説明が足りないと感じられているお客様や、また、残念ながら展示会にご来場頂けなかった皆様には、プライベート展示会のご相談や、新製品、参考出展、ソリューションの資料だけでなく、デモ機などもご用意いたしておりますので、いつでもお気軽に、当社営業担当までお申し付けください。

当社はお客様のお役に立つ製品、サービスを作り続ける事を企業ポリシーとしております。自動認識技術に関するご要望、ご相談、お悩みなど、何でもお気軽にお問い合わせください。
(当社サイトからもお問合せが可能です。
“マーストークン 問い合わせ”で検索)



次号予告

2017年 11月号は・・・

『自律分散型UHF帯RFID
固定式リーダライタのすすめ』

についてです。

Flags 11月号は 11月 10日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2017年10月号 Vol.149 2017年10月10日発行

編集・発行 株式会社マーストークンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本 社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
日立営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556
名古屋営業所	Tel:052(218)7661	Fax:052(218)2607
大阪営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
福岡営業所	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639
X線営業部	Tel:042(484)6155	Fax:042(489)9241